第 87 回理事会議事録

１．日　時：2023 年 4 月 28 日（金）18 時 30 分～20 時 10 分
２．議決方法：オンライン会議システム Zoom を使用した
３．議事参加者：【理事 10 名】 鳩山勝郎、浅越琴美、久保公人、齋藤陽子、寺本直志、
橋本公二、森村俊介、柳澤彰子、山田和彦、吉田正
【監事 2 名】　関口修、正村祐一
【事務局 2 名】 高野英樹事務局長、仲村篤志競技会事業部長
（理事現在数：13 名、定足数 7 名、本人出席 10 名）

４．議事の経過及び結果
WEB 会議システムを用いて理事会を開催した。WEB 会議システムにより出席者の音声と映像が即時に他の出席者に伝わり適時的確な意見交換ができることを確認した。
鳩山会長代行を議長に、議題を逐一審議した。

第 1 号議案　第 86 回理事会議事録の承認について
議事録案を承認した。

第 2 号議案　会員の逝去について
以下の会員の逝去が報告された。
三木甫（会員番号 59033）

第 3 号議案　2022 年度事業報告および決算報告について
鳩山会長代行より 2022 年度事業報告および決算報告について以下の説明があった。
事業報告書については 4 月に最終調整を行った。
決算報告書については 4 月 26 日に会計監査人である齋藤健氏および監事 2 名から監査報告書が提出されている。監事より決算報告書について問題がない旨説明があった。
検討の結果 2022 年度事業報告書および決算報告書の内容を承認し、第 12 回会員総会に付議することを決議した。

第 4 号議案　第 12 回会員総会の招集について
下記の要領で第 12 回公益社団法人日本コントラクトブリッジ連盟会員総会の招集を決議した。
日時：2023 年 5 月 27 日（土）午前 10 時より
場所：東京都新宿区四谷一丁目 13 番地　虎ノ門実業会館四谷ビル 2 階

四谷ブリッジセンター

議案：１．2022 年度事業報告および決算報告の承認について

２．2023 年度事業計画および収支予算の報告について

第 5 号議案　理事による利益相反取引の承認について

理事による利益相反取引一覧が提出された。

2022 年度実績

理事名	現職	取引の相手方	取引額（千円）	取引内容	取引形態
齋藤陽子	大船ブリッジセンター理事長	大船ブリッジセンター	12,349	会費、公認料、商品販売	受取
			183	助成	支払
寺本直志	渋谷ブリッジセンター代表	渋谷ブリッジセンター	9,280	会費、公認料、商品販売	受取
			332	会場賃借、助成	支払
		寺本直志	27	ユース講師料	支払
柳澤彰子	株式会社バリューHR社外取締役	柳澤彰子	90	広報作業謝金	支払
山田和彦	四谷ブリッジセンター理事長	四谷ブリッジセンター	14,187	会費、公認料、商品販売	受取
			22,523	事務所賃料、助成	支払

2023 年度予定

理事名	現職	取引の相手方	取引額（千円）	取引内容	取引形態
齋藤陽子	大船ブリッジセンター理事長	大船ブリッジセンター	14,000	会費、公認料、商品販売	受取
			700	助成	支払
寺本直志	渋谷ブリッジセンター代表	渋谷ブリッジセンター	14,000	会費、公認料、商品販売	受取
			1,500	会場賃借、助成	支払
		寺本直志	60	ユース講師料	支払
柳澤彰子	株式会社バリューHR社外取締役	柳澤彰子	360	広報作業謝金	支払
山田和彦	四谷ブリッ	四谷ブリッ	18,000	会費、公認料、商	受取

	ジセンター理事長	ジセンター		品販売	
			27,000	事務所賃料、助成	支払

検討の結果、上記の 2022 年実績及び 2023 年度予定の利益相反取引を承認した。

第 6 号議案　各委員会および事業部報告

1.　企画委員会

吉田企画委員長より 4 月 12 日に行われた企画委員会について以下の報告があった。

マスク着用については、3 月のマスク自由化以後も各センターではマスク着用が継続されており、それに関してプレイヤーやセンターからの特段の指摘はない。仕切りパネル、検温、昼食時のハンドコピーの配布制限といった各種感染防止対策についてセンターの判断で適宜緩和を行っている。5 月の 5 類移行後については、マスク着用をセンター判断とし様子を見る予定。

2.　代表選抜委員会

橋本代表選抜委員長より 2023 年アジア競技大会の選手合計 8 名の報奨金、代表強化およびキャプテン合計 2 名の業務委託について提案があった。検討の結果、以下のように決定した。

2023 年アジア競技大会の選手への報奨金は 1 人あたり金メダル 15 万円、銀メダル 10 万円、銅メダル 5 万円とする。選手への特別手当として 1 人あたり 10 万円を 5 月に支給する。なお特別手当はアジア競技大会特有の選手への負荷に対するもので収入補償ではない。キャプテンに対して広報業務および JOC 事務連絡業務を 1 人あたり 15 万円の報酬で委託することとした。

3.　競技委員会

寺本競技委員長より 4 月 5 日に行われた第 282 回競技委員会について報告があった。

4.　普及事業部

齋藤普及事業担当理事より 2023 年 5 月に中国で開催される第 24 回 APBF ユース選手権の代表選考について報告された。検討の結果、以下のユース代表を承認した。

第 24 回 APBF ユース選手権

ジュニア代表

宋逸寒、鶴直也、西多史陽、中牟田真、近藤廉太郎、米倉晴紀

NPC 日野雄之

ヤングスター代表

井上布武、滝澤憲、長谷川輝虎、稲見輝志、稲村優佳、三浦優悟

NPC 日野雄之

5.　競技会事業部

山田競技会事業部担当理事より競技会事業部活動状況および資格取得者の報告があった。

6. 広報事業

柳澤広報担当理事より facebook および Twitter による広報活動について報告があった。

7. 法人・管理部

寺本法人・管理担当理事より 3 月末時点の比較財務諸表、月次収支実績、クラブ勘定残高について以下の報告があった。

2022 年度決算については、3 月の収支が順調だったことに加えスリースターシリーズ（旧パシフィコシリーズ）の預り金約 700 万円を 2022 年度の収入に計上した結果、1,500 万円のセンター支援を行った上で約 1,750 万円の黒字決算となった。クラブ勘定の残高については問題がない。

第 7 号議案　その他の議案

1.　次回理事会開催について

次回理事会は 2023 年 6 月 23 日（金）18 時 30 分よりオンラインにより開催する

2023 年 4 月 28 日

公益社団法人日本コントラクトブリッジ連盟

第 87 回理事会

代表理事　　鳩山 勝郎

監　　事　　関口 修

正村 祐一

議事録作成者　寺本直志